



9月も終わりが近づき、肌寒い日が多くなってきました。令和2年9月27日(日)、総合教育センターにおいて第4回かながわ教育学講座が開催されました。今回のテーマは「いま求められる授業」です。新学習指導要領の実施(小学校は今年度、中学校は3年度、高等学校は4年度)に向けて、在るべき授業の姿を考えました。

## 第4回 かながわ教育学講座

### 講義「いま求められる授業」

<ねらい>子どもに「身に付けさせたい力」について考え、いま求められる授業の在り方を学ぶ。



橋本瑠美 指導主事(小学校)



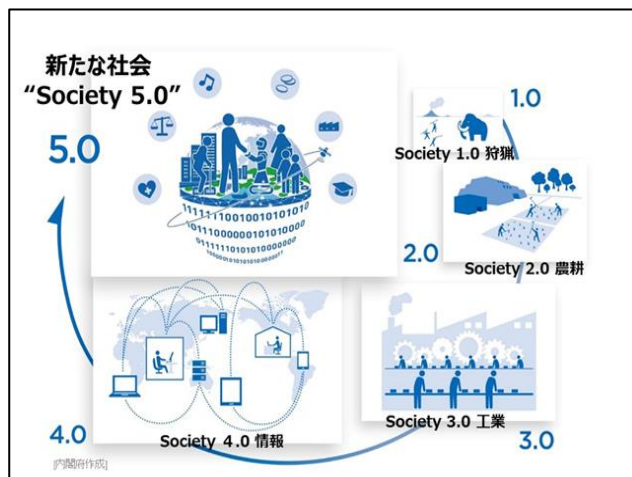
稲葉祐樹 指導担当主事(中学校  
高等学校)



向原俊幸 指導主事(特別支援学校)

講義は、小学校は大講堂、中学校・高等学校は中講堂、特別支援学校は北3B研修室と校種に分かれて行いました。

これからの社会は Society 5.0 と言われます。サイバー空間とフィジカル(現実)空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会のことです。これまでの Society 4.0 は情報社会と言われますが、この到来は20~30年前であり大昔の話ではありません。このように目まぐるしく変わる世界は「予測困難な時代」と言われ、そこに生きる子どもたちに必要な資質・能力や、それに向けた授業の在り方は日々変わっています。

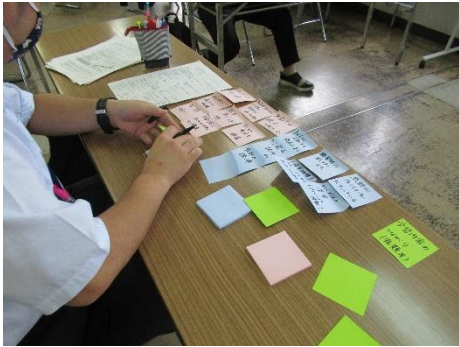


新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」「各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解すること」などが求められており、教員はこれらを踏まえた様々な授業の形を模索しながら自己研鑽に励んでいくことが欠かせません。

講義を聴きながら、大勢の受講者が後半のグループ活動に向けて熱心にメモを取っていました。自分が授業を作ることをイメージしながら、授業の形の基礎を考えるきっかけになったのではないのでしょうか。1月には受講者のみなさんによる授業発表があります。ぜひ、本日の講義の内容を踏まえた授業づくりをしてほしいと思います。

# グループ活動

<ねらい>視聴した授業動画をもとに、いま求められる授業について考える。



グループ活動では、前半の講義で視聴した授業動画の良いところを付せんに書き出して、授業をする際に大切なことを協議しました。多くの受講者が前半の講義でたくさんのメモを取っていたため、付せんに書かれた沢山の気づきをもとに、活発な意見交換が行われました。また、自分の班で話し合ってまとめた模造紙を代表者2人で他の班に説明しているグループや、進行役を決めて受講者主体でグループ活動を運営しているグループなどがありました。

グループ活動の回を増すごとに、話し合いが充実し、今学んでいることを自分事と捉えて前向きに取り組む姿が、正に「主体的な学び」を体現しているようでとても頼もしいです。

## 模造紙の紹介

12グループ2班のまとめを紹介します。この班では話し合いの後に付せんを一回外して、まとめの構想を考えてから作成していました。視聴した授業動画を見て、良いところを「実践線」「関わり方線」「準備線」「教材線」というように線路に見立て、また、付せんを駅に見立ててまとめていました。「コミュニケーション能力の育成」を終着駅としてそこに至るまでに複数の支線から電車が集まってくるというユニークなまとめで目を惹きました。グループ担当者からは「教材線と準備線がポイントで交わってもいいし、コミュニケーション能力以外にも大きなターミナル駅があってもいい。児童・生徒の実態によってそれらは変わってきます。もっとブラッシュアップできますね。」とお話があり、受講者は大きくうなずいていました。

その他にも、黒板をイメージしてまとめたり、イラストを盛り込んだりした班も見られました。話し合いの充実が大切なのはもちろんですが、集大成として見やすくまとめることも大切です。今後も楽しみにしています。

